

商工中金が政府保有株を自己株取得—資本水準回復の蓋然性を確認

以下は、株式会社商工組合中央金庫（証券コード：一）の政府保有株式処分に伴う自己株式取得の方針についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- 商工組合中央金庫（商工中金）は11月15日、政府が保有する商工中金株式を対象として自己株式の取得を行うことを25年1月21日の臨時株主総会に付議することを決議した。政府は、商工中金の政府保有株式の全部売却に向け、24年7月に一般競争入札を行ったものの、落札率は13%と低位にとどまった。今般の自己株式取得の方針は、政府が保有する残余株式について2次入札が実施され、商工中金にも入札参加資格が認められる方針が示されたことを踏まえたものである。
- 発行済株式の46%を政府、54%を中小企業等協同組合などが保有しており、23年6月の商工中金法の改正によって政府保有株式は2年以内に全部売却されることとなっている。商工中金の発行体格付は、単独信用力に政府による特別な支援の可能性を加味している。単独信用力は、堅固な事業基盤、相応の収益力、リスク対比でみた資本充実度などを評価し「AA-」相当とみている。一方、株式売却後の政府支援による格付の引き上げ幅は、危機対応準備金の措置を前提とした政策的な支援の可能性を踏まえ、1ノッチとすることが適当とJCRは考えており、発行体格付を「AA」に変更する可能性を勘案し、見通しを「ネガティブ」としている。
- 商工中金は、政府保有株式の取得総額を会社法上の分配可能額を考慮した「許容しうる最大額」1,580億円としている。商工中金によるシナリオでは、評価差額金を除く普通株式等Tier1比率（CET1比率）は、24/3期末の約11%から10%を下回る水準に低下する可能性があるが、実際の取得価格等の決定にあたっては、内部留保の蓄積やリスクアセットコントロールなどを通じて、3年程度で同比率を10%程度まで回復させることを考慮するとしている。JCRが重視する調整後Tier1比率も低下することになるが、規律ある資本政策のもとで資本水準の回復を見守っていく余地はあるとみており、現時点では格付アクションの想定は変更せず、株式取得手続きの進捗をフォローするとともに資本水準の回復の蓋然性を確認していく。

（担当）宮尾 知浩・南澤 輝

【参考】

発行体：株式会社商工組合中央金庫

長期発行体格付：AA+ 見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル